

原 著

## 当院職員へのインフルエンザ罹患に関するアンケート調査

長岡中央総合病院、薬剤部、内科；薬剤師<sup>1)</sup>、内科医師<sup>2)</sup>

西 大 法<sup>1)</sup>、鈴木 敦 子<sup>1)</sup>、山 中 美 佐<sup>1)</sup>、深 川 理 代<sup>1)</sup>  
渡 辺 七 朗<sup>1)</sup>、岩 島 明<sup>2)</sup>、佐 藤 英 夫<sup>2)</sup>、河 辺 昌 哲<sup>2)</sup>

当院職員のインフルエンザ罹患状況やインフルエンザワクチンに対する意識を把握するため今回のアンケート調査を実施した。調査では平成14年秋から15年春において当院従業員のインフルエンザワクチン接種率は43%であり、インフルエンザ罹患率は6.42%であった。外来患者と接する機会の多い医師・外来看護師はインフルエンザワクチン接種率が高かったにもかかわらず罹患率が平均より高かった。また、事務職では患者さんに接する機会の多い職種の方が罹患率が高いことがわかった。

忙しい、面倒、値段が高いという理由から接種を行わなかった職員が多く見られた。

キーワード：インフルエンザワクチン、インフルエンザワクチン接種率、インフルエンザ罹患率

### 緒 言

医療従事者がインフルエンザワクチンを接種する目的は“ハイリスク者の保護”並びに“医療従事者および施設の利益”の2つであると考えられている。すなわち医療従事者が施設内にウイルスを持ち込まない、あるいは施設内での媒介者にならないことで患者さんを保護すると共に医療従事者の発病防止は、施設にとっての労働力損失防止にもつながると考えられる。<sup>1)</sup>

当院でも職員にインフルエンザワクチン接種を呼びかけているが平成14年秋の接種人数は職員の半数にも達しなかった。

そこで今回我々薬剤部・呼吸器内科チームでは、職員のインフルエンザ罹患状況やインフルエンザワクチンに対する意識を把握するため今回のアンケート調査を実施したので報告する。

### 対 象 と 方 法

アンケートの実施期間：平成15年5月19日～23日。  
アンケート対象者：病理センターと看護学校を含まない当院全従業員の753人。

アンケート内容を(図1)に示す。性別・年代・職種・平成14年10月～平成15年4月までのシーズンにおけるワクチン接種の有無・インフルエンザの罹患の有無、ワクチン接種をしなかった理由などの質問に回答してもらった。

### 結 果

685人の回答が得られ、回収率は91%であった。

- 1) 回答者の年代別構成(図2)：30代が一番多く40代、20代の順であった。
- 2) インフルエンザワクチンの接種率(図3)：685人の中でインフルエンザワクチン接種者は294人、接種率43%、未接種者が391人、未接種率57%となりワクチンを接種していない人の方が多いという結果となった。
- 3) インフルエンザ罹患率(図4)：今回のアンケートでは受診してインフルエンザと診断された人と受診していないがインフルエンザの様な症状があった人を罹患したとみなした。685人中インフルエンザに罹患したのは44人、罹患率6.42%であった。内訳はインフルエンザワクチンを接種して罹患した人が20人、罹患率2.92%。インフルエンザワクチンを接種せずに罹患した人が24人、罹患率3.50%であった。
- 4) インフルエンザの年代別罹患率(図5)：30代が一番多く50代、40代の順となった。30代の罹患が一番多いのは年代別構成に一致するという点のほか、子育て世代であり幼稚園児や小学生などの家族からの罹患も多いのではないかと考えられた。
- 5) インフルエンザ職種別罹患状況(図6)
- 6) インフルエンザワクチン接種率と罹患率の比較：インフルエンザ罹患状況とワクチン接種率との関係を見るために、インフルエンザワクチン接種率の高い職種と低い職種についてインフルエンザ罹患率を比較した。(図7)  
前述の通り、全体のインフルエンザワクチン接種率は43%であり、医師、外来看護師は全体の平均より高い接種率にもかかわらず罹患率も高くなっている。これはインフルエンザウイルスに暴露される機会が高いためと考えられる。  
次に栄養科はインフルエンザワクチンの接種率も高く、また暴露される機会も少ないため罹患がなかったものと考えられる。  
ワクチン接種率の低い職種として事務とりハビリ科が上げられた。  
同じ事務職でも患者さんに接する機会の多い職種の罹患率が高かった。またりハビリ科も接種率が低く罹患率も高くなった。
- 7) インフルエンザワクチンを接種しなかった従業員について接種しなかった理由を聞いたところ(図

- 8)、
  - ・面倒だから。
  - ・忙しかった。
  - ・絶対にかからないとはいえないから。
  - ・副作用が心配だから。
- 等の回答が得られた。

考 察

- ・アンケート調査では平成14年秋から15年春において当院従業員のインフルエンザ罹患率は6.42%であった。
- ・外来患者と接する機会の多い医師・外来看護師はインフルエンザワクチン接種率が高かったにもかかわらず罹患率が平均より高かった。また、事務職では患者さんに接する機会の多い職種の方が罹患率が高いことがわかった。
- ・インフルエンザワクチン接種率は43%であった。忙しい、面倒、値段が高いという理由から接種を行わなかった職員が多く見られた。
- ・今年度は院内感染防止の観点から病院の方針として全員の接種を勧め接種率の向上を目指している。

今回のアンケート調査の結果をもとに質問内容を検討し来年再度アンケート調査を実施したいと考えている。

文 献

1. 廣田良夫, インフルエンザ対策とワクチン接種.

インフルエンザに関するアンケート調査へのご協力のお願い

昨年秋からの春にかけて全国でインフルエンザが猛威をふるいました。当院では、昨年11月、職員希望者にインフルエンザワクチンを接種しましたが、その有効性について検討したいと思います。委託を食中毒会職員の方にアンケート調査へのご協力をお願い致します。

各職場毎にまとめてアンケート用紙をお配りしますので、お忙しいところ大変申し訳ありませんが、アンケート回答を職場毎にとりまとめて、5月23日までに薬剤部にお届けください。

アンケートの回答が研究費以外に使われることはありませんので、是非とも全員の方のご協力をお願いします。

アンケートに関して、ご質問があるようでしたら、薬剤部下記メンバーにお問い合わせください。

呼吸器内科 岩島 明 佐藤 英夫 伊藤 寛雄  
 薬剤部 鈴木 敦子 山中 美佐  
 西 大法 深川 理代

インフルエンザに関するアンケート調査

呼吸器内科&薬剤部

質問に該当する番号を回答欄( )に記入してください。  
 尚、質問中の今シーズンとは、H14年10月~H15年4月までの期間とさせていただきます。

	回答欄
A 性別 ① 男 ② 女	A( )
B 年齢 ①10代 ②20代 ③30代 ④40代 ⑤50代 ⑥60代以上	B( )
C 所属 ①医師 ②看護師(外来) ③看護師(病棟) ④看護婦(その他) ⑤薬剤師 ⑥放射線科 ⑦検査科 ⑧栄養科 ⑨リハビリ科 ⑩事務(患者さんと接する機会多い) ⑪事務(患者さんと接する機会少ない) ⑫その他(患者さんと接する機会多い) ⑬その他(患者さんと接する機会少ない)	C( )
D 勤務 ①常勤 ②二交代 ③三交代 ④ その他	D( )
E 世帯 ①家族と同居 ②1人暮らし ③寮 ④その他	E( )
質問1 あなたは今シーズン、インフルエンザのワクチン接種をしましたか。 ① はい ② いいえ	質問1( )
質問2 あなたは過去(今シーズン以前)にインフルエンザのワクチンをしたことがありますか ① 一度も無い ② 1回した ③ 2回した ④ 3回以上した	質問2( )
質問3 あなたは今シーズン、インフルエンザにかかりましたか。 ① 受診して、インフルエンザといわれた ② 受診していないが、インフルエンザの様な症状があった ③ かからなかった	質問3( )

ウラ西もあります。

第51回日本病院学会ランチョンセミナー講演より、

英文抄録

Original article. Questionnaire investigation of influenza affection to our hospital staffs

Dispensary, Internal Medicine, Nagaoka Central General Hospital; Pharmacist 1), Physician 2)

Hironori Nishi 1), Atsuko Suzuki 1), Misa Yamanaka 1), Riyo Fukagawa 1), Shichiroh Watanabe 1), Akira Iwashima 2), Hideo Satoh 2), Shotetsu Kawabe 2)

Abstract

Objective: We carried out a questionnaire investigation to understand both a state of influenza affection and a consciousness for influenza vaccine in our hospital. Study design: Results: Conclusion: The rates of both an inoculation and a prevalence were 43% and 6.42%, respectively, from the autumn in 2002 to the spring of 2003. A high prevalence rate was found in doctors and ambulatory nurses, having a frequent contact with outpatients, in spite of their high inoculation rate. As to clerks, a prevalence rate was highly related to a contact with many outpatients. There were many staffs without any inoculation because of their business, its troublesome task, and expensiveness.

Key word: Influenza vaccine, rate of inoculation, rate of prevalence

質問	回答欄
質問4 あなたの家族(同居中)で今シーズン、インフルエンザにかかった人がいましたか。 ① 受診して、インフルエンザといわれた家族がいた ② 受診していないが、インフルエンザの様な症状があった家族がいた ③ 誰もかからなかった	質問4( )
質問5 質問1でいい(②)と答えた方でワクチン接種を行わなかった理由は何ですか。(いくつでも) ① 値段が高いくらい ② 体調が悪かった ③ 忙しかった ④ 痛そうだから ⑤ 面倒だから ⑥ 絶対にかからないとはいえないから ⑦ 分からない自信があった ⑧ ワクチンの副作用が心配だから ⑨ 過去にインフルエンザワクチンで実際に副作用がでたから ⑩ 昨年11月には当院に在籍していなかった ⑪ その他	質問5( )
以下の質問は質問3でいいと答えた方にお尋ねします。	
質問6 インフルエンザは何型でしたか ① A型 ② B型 ③わからない	質問6( )
質問7 お薬は何を使いましたか。 ①オミロン(内服薬) ②リレンザ(吸入薬) ③シントレル ④その他の薬 ⑤薬は使わなかった	質問7( )
質問8 お薬は何日使いましたか。 ①1日分 ②2日分 ③3日分 ④4日分 ⑤5日分 ⑥6日分以上	質問8( )
質問9 お薬を使って何日位で症状がよくなりましたか。 ①1日め ②2日め ③3日め ④4日め ⑤5日め以降	質問9( )
質問10 仕事を休みましたか ①休まなかった ②1日休んだ ③2日休んだ ④3日休んだ ⑤4日休んだ ⑥5日以上休んだ	質問10( )
質問11 今回のインフルエンザはどこからうつったと思いますか ① 患者さん ② 職場の人 ③ 家族 ④ その他 ⑤ 不明	質問11( )

ご協力ありがとうございました。  
 アンケートは各職場毎にまとめて5月23日までに薬剤部へ提出してください。

当院職員へのインフルエンザ罹患に関するアンケート調査

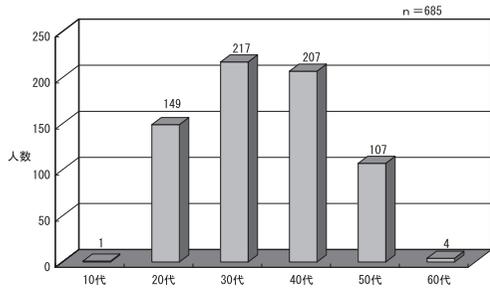


図2 アンケート回答者年代別人数



図6 職種別インフルエンザ罹患状況

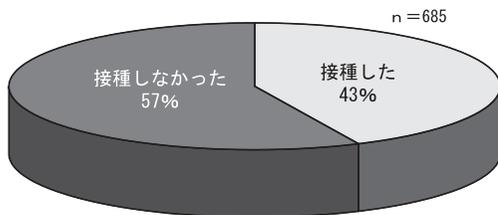


図3 インフルエンザワクチン接種率 (全従業員)

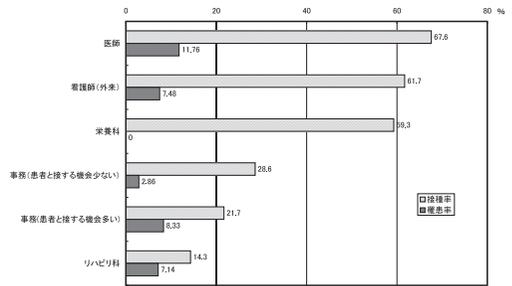


図7 インフルエンザワクチン接種率とインフルエンザ罹患率の比較

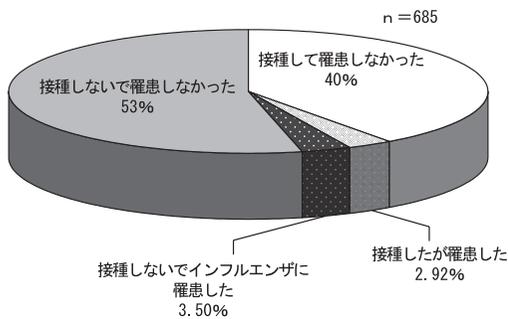


図4 インフルエンザ罹患率 (全従業員)

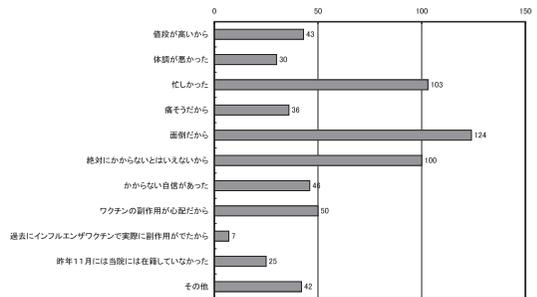


図8 インフルエンザワクチンを接種しなかった理由

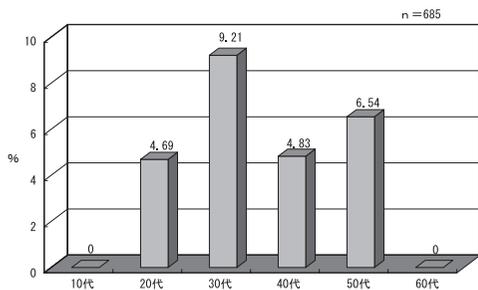


図5 年代別インフルエンザ罹患率